

まちづくり懇談会内容

日 時：令和5年11月6日（月） 13：30～14：58

場 所：杵臼公民館

出席者：17人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

(1) これからのまちづくりについて（資料①）

(2) 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：杵臼本線については、基盤整備を行って区画等が大きくなってきているが、杵臼公民館近くの交差点の信号機をずらして頂けないかと何年か続けて要望しているので、引き続きお願いしたい。今見ると、若干擦れた跡があったりするので、大きな事故が起きる前にお願い出来ればと思う。また、湯地継立線の補修について、予算が上がっていた気がするが、どのような内容だったか教えて頂きたい。

町長：杵臼公民館の近くの交差点については、杵臼本線の整備の時に拡幅した。信号機の部分に関しては、恐らく警察の対応になると思うので、確認して伝える。

湯地継立線については、令和6年度に予定している。只、杵臼本線の整備に関する国の予算が中々つかない。要望に行っているが、今年度の補助の内示率が20%となっており、未だかつてない低い数字だった。20%ではとても整備が進まない。単独費で整備を進めて

きた部分もあり、杵臼本線は令和6年度には終了しそう。そちらの状況次第で、若しかしたら湯地継立線については、令和7年度からの実施になるかもしれない。国にも続けて要望していき、なるべく早く行える様にしていきたい。

町民：ゴミの関係でも大きな車が通る道となるので、出来るだけ早く行えればと思う。

町民：長沼の病院は送り迎えをしてくれる。高齢者に向けて、お客さんの確保が上手だなと思っている。日赤も新しくなった際には、そういった取り組みを検討し、利便性の向上をしていけるとお客さんが増えて良いのではと思っている。建物が新しくなるだけではなく、そういったサービス面も変えていって患者が増えなければ、医師の常駐にも繋がっていかないと思う。

町長：建物が新しくなるだけではなく、サービス面の向上も経営努力として行っていかねばならないと思う。日赤病院が主体として行ってもらう形になるが、町としても協力をしていくので、引き続き一緒に協議していきたい。日赤病院は早くからコロナ病床を設けていたので、交付金等が入りコロナ禍で収益改善にはなっているものの、累積赤字がまだ20億円以上ある状況。そういった関係からも、経営努力は必要だと考えている。サービスに関する部分では、廊下が狭い、動線が遠いといった課題があったが、そういった点は改善されていく。改築に合わせて、MRI等の医療機器の更新もされるので、医療の質もかなり向上されると思われる。

町民：どこの自治体も同じ問題を抱えていると思うが、栗山町においても今年の10月時点で人口が1万1千人を割っており、5年後には1万人を割る予測もできる。人口減少に歯止めをかける考えをお持ちであれば、お聞かせ頂きたい。

町長：ご指摘の通り、人口減少に歯止めがきかないというのは、栗山町だけではなく全国的な課題となっている。第7次総合計画は令和12年までの計画であり、その時点で1万200人という形で、この8年間頑張って移住定住政策等を行い、なんとか1万人を切らないようにと目標を立てた。移住定住等の対策を何も取らなければ、令和12年には人口が9千5百人となる国の予測もある。まずは、企業誘致や移住定住対策を行っていき、人口減少は止められないまでも、少しでも減少幅を抑えていく努力を行っていきたいと考えている。また、人口の構成について、0歳～14歳までの年少人口、15歳～64歳までの生産年齢人口、ここの層が栗山町の経済を支えている。今は生産年齢人口が約50%、65歳以上の老年人口が約40%、年少人口が約10%という構成となっており、なんとかバランスを維持しているが、6～7年経つと、老年人口が生産年齢人口を上回る状況となる。そうなると、町の経済や制度的な仕組みも変わってってしまうので、人口の減少を少しでも抑えていくことに加えて、生産年齢人口が老年人口を下回らない様な努力が必要と考えている。その為には、どのような事業を組み立てていけば良いか、関係者で知恵を出し合いながら検討し、頑張っていきたい。

町民：ここにきて隣町の南幌は人口が増えている。もちろん地の利もあると思うが、要因は何でしょうか。

町長：南幌町は千歳市や北広島市に隣接しているということもあり、ボールパークの関係で北広島市の地価が急上昇している。また、千歳市も半導体メーカーの関係で地価が上昇。近接している地域の地価の上昇が要因の1つと聞いている。また、南幌町は子育て政策に力を入れており、新しい施設もできたりした。そういった複合的な要因がマッチした結果と思われる。総合的に見ると、栗山町の方が子育て政策は充実している。それが上手く伝わっていない訳ではないと思うが、空回りしているのか。医療費の無料化であったり、子育て関連の施設は他と比べてかなり充実しているので、もう少し栗山も頑張っていけないと感じている。

町民：ゴミ処理場の委託業者の対応があまり良くないと思っている。行った際にタメ口で話されたりしたので、町民が行った際にはちゃんと対応するように指導をお願いしたい。

環境政策課長：大変申し訳ありませんでした。今年に入って、町内会から運転が荒い等の話が出ていた。その際にも、運転面の注意や栗山町の業務を受注して行っているという意識を持つようにと指導してきたところ。今回の件も踏まえて、改めて強く注意するようにする。何かあれば、環境政策課までご連絡頂きたい。

町民：桜山の処理場は今後も稼働するのでしょうか。

環境政策課長：来年以降も燃やせないゴミや粗大ごみは桜山で処理することになるので、引き続き稼働する。千歳の施設は燃やせるゴミの処理となる。

町民：農業に関するゴム製品については出して良いか。

環境政策課長：農業に関するものは、事業活動に関するものなので一般のゴミとしては受け入れできない。農協へ問い合わせ頂ければと思う。